

大阪管区気象台が、5月16日、近畿地方に統計開始以降（1951年）最も早い梅雨入り宣言を出しました。今週は、週末まで晴れ間の少ないじめじめした気候になりそうです。

そのような中ですが、児童たちは元気に学校生活を過ごしています。雨の合間をぬって、運動場で遊べるときは、できるだけ多くの児童に外に出てもらいたいです。

さて、先週末、今般の状況を鑑み、2年続けての水泳学習の中止を決断し、みなさんにお伝えしました。大変、心苦しい思いですが、命に代わるものはないとの思いからです。

最後になりましたが、児童、教職員とも知恵を絞り、梅雨の時期、また猛暑の時期を、けがや熱中症、そして感染症に留意して、安全に過ごせるよう、工夫していきます。

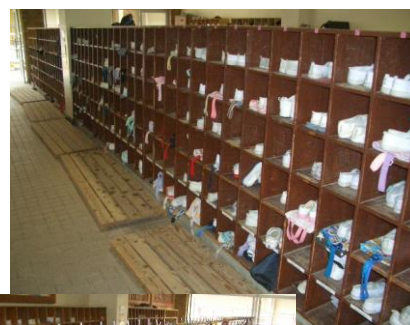
今朝、職員通用門に入る手前の道でカタツムリと遭遇しました。入梅を改めて感じました。久しぶりの光景です。

また、校舎内では、アジサイが今、蕾を膨らませています。これから青紫色の花をたくさん咲かせてくれるでしょう。アジサイは種類が豊富。その神秘的な花色で、目と心を癒したいです。



正門の花壇を、秋～冬の仕様から夏の仕様に変える時期になりました。植え替え用のトレイの中には、マリーゴールド、ジニア、トレニアなどのポット苗がありました。どんな花壇になるか、楽しみにしてください。

今朝の児童登校前の下足室の様子です。素晴らしいことに、上靴が一つも床に落ちてなく、且、かかとがへりにそろった状態でした。これまで学校だより等で述べている通り、下足室の様子（靴の状態）とあいさつは、学校のバロメータです。この状態が続くといいです。また、置き傘も、閉じた状態で置かれていました。だれか先生がしてくれたのかな。できない児童は家で練習しておいてほしいな。



花を愛でる。季節を愛でる。

環境づくり＝人づくり。